

ご当地アイドルとのコラボで認知症の理解を広める

群馬県認知症介護指導者

吉沢京子

キーワード: 地域住民への啓発 ご当地アイドル

活動の概要(活動の主体:群馬県)

【活動目的】

群馬県地域包括ケア推進室の主催により、地域の方を対象に、ご当地アイドルで認知症アンバサダーでもある「あかぎ団」のメンバーと認知症についての理解を広めることを目的にイベントを開催した。

【活動内容】

地域大型店のフードコートを会場に、幅広い年齢層をターゲットとし、認知症は誰にも起こりうる身近な病気であり、みんなで支え合うことで、住み慣れた地域で暮らし続けることができることを伝え、その後、あかぎ団のメンバーが、高齢者施設訪問時に認知症の方と接した際の疑問(渡した折り鶴を食べようとした・いきなり怒りだした・何も分からないと思ったのに歌が歌えた等)に対して、言動の理由を分かりやすく説明し、関わり方のポイントを会場の皆さんと一緒に考える形式で実施した。

活動のきっかけ、背景(指導者としての立場で)

県地域包括ケア推進室から、認知症サポーター養成研修へのメイト指導者派遣事業や団体向けサポーター養成講座の講義資料作成事業等の業務委託を受けており、本活動も指導者としての自分に依頼があった。

活動の経過と成果

【活動の経過】

県・あかぎ団メンバーとの事前打ち合わせで、認知のプロセスと記憶障害による行動の混乱を事例で説明することで、自分事として認識できるよう意図した。

【活動の成果】

「何事にも理由があるってことか。」「なるほど。」など、今までの持っていたイメージを変化させ新たに捉えなおした感想をいただいた。数値での効果測定はできなかったが、記憶障害による行動の混乱や本人視点に立った関わり方、地域づくりについて、ある程度伝えられたのではないかと思う。



今後の展望

県内の指導者と共に、企業向けの認知症サポーター養成講座の企画・開催している。今後も県や市町村の認知症の啓発に関する事業に仲間と共に取り組んでいきたい。